



# 建築士会 CPD 制度が変わります。

平成 21 年 1 月 5 日施行の改正建築士法第 22 条の 4 の規定によりすべての建築士に対する研修を行うことが建築士会に義務付けられたこと、そして行政機関での CPD の実績データが建築工事での入札資格審査にも活用が広まっており山梨県建築士会でも 23 年 4 月よりすべての建築技術者にも建築士会 CPD 制度を提供(オープン化)することになりました。

については、これまでのシステムを一新し、より利便性の高い IC カードによる新システムを採用して、活用先の要望に応じて履修証明を容易に発行できるしくみに変更させていただきます。

但し、山梨県建築士会では、当面は、研修会場での名簿記名方式でスタートします。

研修の認定は、事前認定となりますので、社内研修、NPO 等自主活動の方も事前申請が必要です。詳細は、連合会 HP に掲載されていますので、ご参照願います。

なお、現在山梨県建築士会には 740 名の皆様が CPD 制度に参加され、講習会、研修会等に参加し能力向上に励んでおります。皆様には是非参加していただき「信頼できる建築士」としてご活躍されることをお願い申し上げます

**参加ご希望の方は参加申込書**(様式第 1 号)にご記入の上、お申し込み下さい。

また、現在 CPD 制度にご参加の方は誠に恐縮ですが、同封の葉書(CPD 参加登録確認書)にご記入の上、3月25日(金)必着で返送していただけますようお願いいたします。

返送のない場合は参加継続とさせていただきます。

なお、平成 22 年度までの CPD データの登録は、なるべく本年 5 月末までに申請いただけようお願い申し上げます。

## 1. 建築士会 CPD 制度の概要 (表 1 参照願います)

これまでの研修プログラムへの参加時にバーコードシールの配布と、バーコードを貼付した CPD 手帳の提出により CPD 履歴を登録する方法を改め、研修プログラム参加時に IC カード等による研修会場等での出席記録等により登録を行う仕組みに変更します。

その情報を CPD 単位として建築士会が専用サーバーに登録することで CPD 参加者の履修履歴を蓄積するので、CPD の単位を登録するための手帳の提出が不要となります。よって、単位登録に要する時間が大幅に短縮され、ネット上で自身の単位の取得状況が確認できるなど、利便性が向上します。

### (1) 履修対象プログラムの厳格化

制度改正に伴い、対象となるプログラムは、審査委員会による「事前認定」を原則とします。また、「実務による研修」、「委員会活動」、「認定教材を除く自習型研修」は対象外となります。そして、単位換算も研修による重み付けを無くし、休憩時間なども控除した厳格な実時間単位(30 分を超える時間は 1 時間)に統一します。

### (2) 年間 12 時間以上の履修の推奨

12 時間/年以上の履修者を「CPD 建築士」、「CPD 技術者」として「努力する建築士・技術者の証」として建築士会ホームページで公開します。また、推奨時間は専攻建築士の認定基準にも活用します。

### (3) プロバイダー登録、プログラムの認定、出席者リストの提出方法

講習会等の主催者(プロバイダー)が、自ら行う講習会等を建築士会 CPD 認定プログラムとする場合、先ず建築士会へプロバイダー登録をします。

次に、プロバイダーがプログラムの認定申請を行い、建築士会内の審査会がその内容を審査します。認定されたプログラムの開催終了後にプロバイダーは出席者リストを建築士会へ提出します。

### (4) 認定プログラムの公開

本会で認定するプログラムについては、ホームページにおいて公開します。

### (5) 新システムによる単位登録の流れ - 研修会場で CPD カードをかざすか、氏名(カタカナ)と士会 CPD 個人番号とを記入するだけで自動的に登録されます -

研修プログラム参加時に士会 CPD 個人 ID (建築士登録番号ほか) の入った「CPD カード(一級建築士免許登録証明書・IC 付き専攻建築士登録証でも代用可)」により研修会場等に設置されたカードリーダーに入力することで出席記録とし、研修主催者がカードリーダーに記録された出席者リストをデータ化して連合会の設ける専用サーバー(履歴簿)へ送信し、士会事務局が確認・登録します。

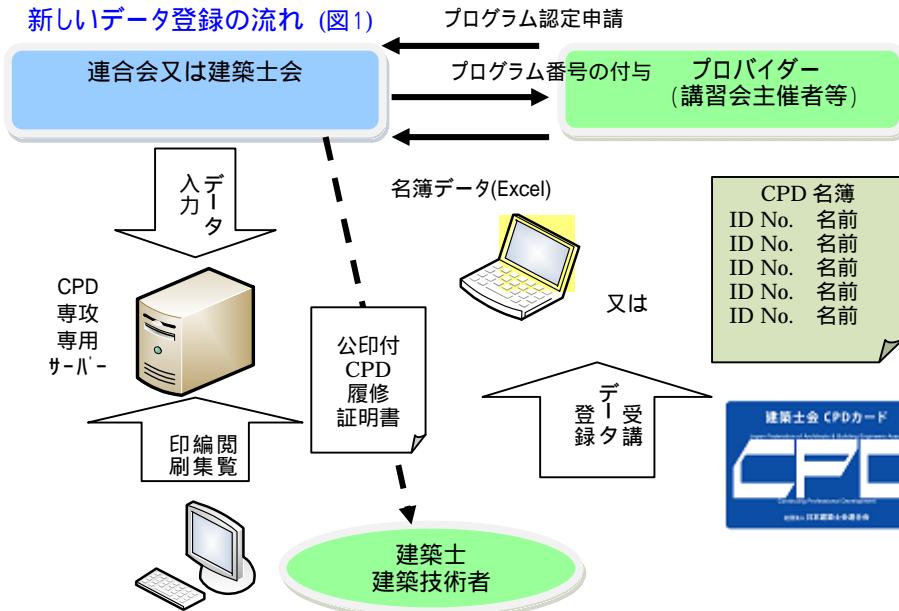
ただし、当面は研修会場で「氏名と CPD 番号(または建築士番号または施工管理技士番号のいずれか一つ)」名簿(図 2)に記入頂くか、研修主催者がエクセルで参加者名簿を作成の上、速やかに士会事務局に送付頂ければ、確認の上参加者データを登録致します。

また、予め研修参加申込の際に「CPD 番号(または建築士番号等)と氏名(フリガナ)」を記入頂いている場合には、主催者が参加者予定者名簿から欠席者を除いて、名簿を送付頂くことでも登録可能です。速やかにサーバーへの登録がなされなかった出席者のデータについては、後日の登録も可能です。

## 出席者名簿(見本)(図2)

「研修プログラム名」 建築士会CPD認定研修 出席者名簿					
プログラムID: 研修名: 実施日時: 会場:					
●研修参加人数(講習会主催プログラム(セミナー)が記入)					
席	建築士会CPD番号または建築士会番号	姓(カナ)	名(カナ)	講師(印)	受講(印)
1	00000123456	ケンタウ	タロウ	2D	1D
2					
3					
4					
●出席者別入籍					
席	建築士会CPD番号または建築士会番号	姓(カナ)	名(カナ)		
席1	CPD番号の場合 00001234567	ケンタウ	ハナコ		
席2	一般建築士の場合は番号のみ 1234567	ケンタウ	コウゾウ		
席3	二級・水産建築士の場合は登録番号・番号 番号 1234	ケンタウ	タロウ		
席4	北海道と兵庫県の場合は登録番号・支庁名・番号 北海道札幌123456	ケンタウ	タロウ		
席5	建築士会管理技士の場合は認定台帳番号 00010000	セウウ	カンリ		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

## 新しいデータ登録の流れ(図1)



### (6) 行政機関等における CPD の活用

行政機関の工事入札等において、平成 23 年 1 月現在で 33 県と 19 市および国土交通省が建築士会 CPD を加点の対象としています。すべての建築士と建築施工管理技士にも CPD をオープンにすることで、今後、新たに発注工事入札等において CPD を加点対象とする機関は加速的に増える予想されます。

したがって、今後、CPD に業務的なメリットを感じて新たに同制度に参加する建築技術者が増えると同時に CPD 単位取得のために各種の研修プログラムに参加される機会も増えるものと予測します。

### (7) 認定対象となるプログラム

認定プログラムの対象となるプログラムは、「建築士会 CPD プログラム認定基準」および「建築士会 CPD プログラム判定指針」に基づき、建築士会 CPD 審査委員会が審査を行います。

### (8) 講習会等の講師の場合

建築士会認定プログラムである講習会等の講師としての活動を CPD 単位とする場合、プロバイダーが出席者リストの講師欄に CPD 番号とカナ氏名を記入し、士会事務局へ提出します。

### (9) 認定教材の場合

連載講座等の認定教材の履修登録は、教材で学習後に誌上に掲載される設問への解答を CPD 参加者がネット上の専用画面（建築士会 CPD システム・参加者用画面）で入力し、正解の場合に建築士会（事務局）が CPD 単位として登録します。システムの使用には、所定の URL からシステムにログインして行います。

（システムのご利用方法は次項を参照願います。）

### (10) 建築 CPD 情報提供制度への登録

本会で認定するプログラムについては、(社)日本建築家協会および建築 CPD 情報提供制度(事務局:(財)建築技術教育普及センター)においても認定プログラムとして登録されますので、取得単位がそこで活用されます。ただし、**雑誌閲覧及びHPの「認定教材」**については、情報提供制度の対象とは**なりません**。

### (11) 他団体 CPD 制度とのデータの交換(表3参照)

本会と、ほぼ同仕様のシステムを運用している JIA(日本建築士会協会) 等とはデータの交換が可能となり、建築士会で認定した研修プログラムの出席データは、JIA へも自動的に提出されます。また、JIA 等の認定プログラムに出席した場合も、それらの団体から建築士会へ出席データが送られ、建築士会に登録されます。なお、建築 CPD 情報提供制度(事務局:(財)建築技術教育普及センター)へも CPD 履歴データを送り、同制度を活用します。

### (12) 専攻建築士の登録、更新への活用

建築士の専門領域を建築士会が表示する専攻建築士の登録および更新の要件として、CPD 単位が活用されます。新規登録には、直近 1 年間で新 CPD 研修 12 単位があれば、専攻建築士の登録申請ができます。

また、専攻建築士の登録更新時には、直近 5 年間で CPD60 単位があれば更新可能です。(ただし、新規登録と更新のいずれの場合も、別途、実務実績も必要となります)

表1 CPD 制度改正の新旧比較

		旧制度	平成22年4月より適用
CPD参加資格		建築士会会員限定	すべての建築士 施工管理技士等すべての建築関連技術者
履修実績の記録・登録	データ登録・管理方法	バーコード方式 各建築士会のPCで管理	カード方式(名簿・Excel等研修主催者からのデータ送付) 建築士会専用サーバーで管理
	参加型研修	講習会場等でのバーコードの配布と手帳の提出により登録	講習会場でカード等による出席記録に基づき登録
	認定教材	誌上掲載の設問への解答とバーコードを手帳に貼付して士会へ提出	HP上で設問に答えた後に、事務局の確認を経て登録
	事後申請の扱い	自己申告に個別に対応	原則認定外。ただし、内容等により認定する場合もある(有料)
履修対象プログラム	プログラム種別	社会貢献型	情報提供型(社会貢献型、講師)
		情報提供型	
		委員会活動型	
		認定研修	参加型研修(特別認定研修、講習会、法定講習、見学会等)
		その他講習会・見学会等	
		認定教材による自習	
プログラム認定	プログラム評議会等により認定	認定教材による自習	
	プログラム認定手数料なし	- 対象外 -	
履修実績の活用	単位換算	研修別により重み付け	実時間換算とし、重み付けは行わない
	能力開発の目標	年間36単位	年間12単位以上
	履修実績の確認	証明書の交付により確認	HPで常時確認可能
	履修実績の提供	活用先にあわせて、手作業で提出データを整理、提出	必要なときに必要なデータを容易に編集、提供可能

表2 建築士会CPDプログラム分類表

プログラムの形態		プログラムの内容	単位換算基準
参加型研修	士会特別認定研修	「すべての建築士のための総合研修」等建築士会が主催し、プログラム審査評議会がCPD制度の中核的研修として位置付ける研修	時間×1
	認定講習等	基準・規準・指針・マニュアル等講習会、セミナー/シンポジウム/講演会/ワークショップ、各団体大会、学会・協会主催の研究発表会、企業内研修(所属組織内における技術・研究発表会、研修会)、通信教育等	時間×1
	法定講習	定期講習等、建築士法その他建築関連法規で定められた講習	時間×1
	認定見学会等	見学会、国内外視察、企業内研修(所属組織内における見学会、国内外視察)	時間×1
大会等参加	建築士会等の団体の主催する全国大会に行われる講演等各種研修	時間×1 ただし式典は除く	
情報提供型研修	講師等	基準・規準・指針・マニュアル等講習会、セミナー/シンポジウム/講演会/ワークショップ、各団体大会の講師、学会・協会主催の研究発表等、企業内研修(所属組織内における技術・研究発表会、研修会、見学会、国内外視察) 見学会・国内外視察の講師	時間×1
	社会貢献型活動	建築士会等の団体が行う住宅相談、震災時等建築物応急危険度判定、裁判所等に派遣された鑑定人・調停人活動、地方自治体主催の建築相談、まちづくり活動等の緊急性又は公共性の高い活動	時間×1
専門書購読	認定読書	プログラム評議会で認定する建築技術書(ただし、教養書的内容の本は上限3単位)	内容と頁数により1~5単位

表3 建築士会CPD制度に登録できるCPD単位

参加プログラム	CPD 単位登録先		
	建築士会	JIA	情報提供制度
建築士会認定プログラム			(法定講習・認定教材を除く)
JIA認定プログラム	(自習・委員会を除く)		(法定講習・認定教材・自習・委員会を除く)
情報提供制度認定プログラム			

## 2. 建築士会CPDシステム 参加者用システム利用方法(詳細は、連合会HPのマニュアルを参照願います)

建築士会CPDシステム/参加者用システムでは、次のことが利用できます。

取得単位数の確認      認定教材の設問への解答      ポートフォリオの作成

### (1) システム利用のための初期登録(図3参照)

はじめてこのシステムを利用するときには、初期登録を行いIDとパスワードを入手する必要があります。

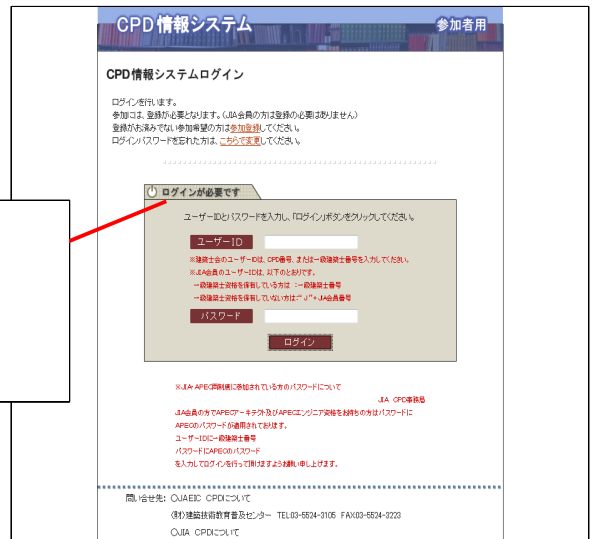
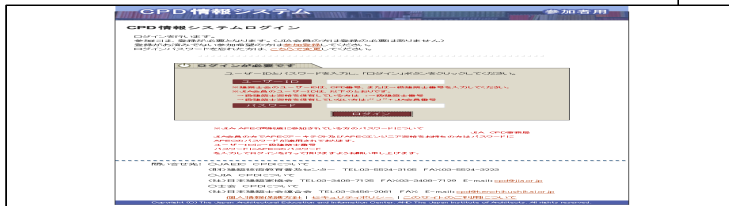
日本建築士会連合会のホームページからシステムにアクセスしてください。      ログイン方法(図3)

「参加者ログイン画面」の「参加登録」の文字をクリックし、「参加登録画面」に進みます。

「参加登録画面」CPD 番号(CPD手帳をご参照下さい)

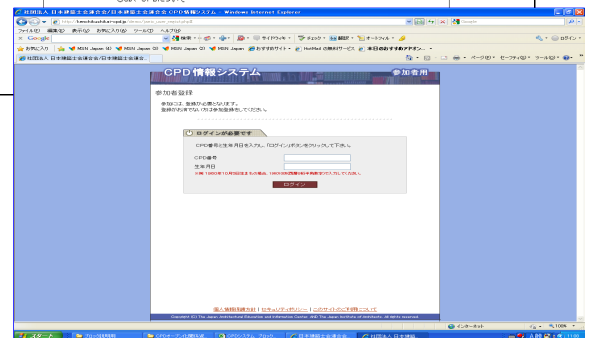
と生年月日(西暦8桁/例:1960年10月5日の場合

「19601005」)を入力しログインを押します。



次の画面で「メールアドレス」を入力して「登録」を押すと指定のメールアドレスに「ID」、「パスワード」が配信されます。

なお、登録時にCPDメールマガジンの配送を希望するにチェックを入れると、講習会等の情報が指定のメールアドレスに配信されます。



### (2) 取得単位の確認方法(図4参照)

「参加者用画面」のシステムログインを押します。

「ユーザーID」にCPD番号(または建築士番号)と「パスワードID」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックして「参加者用」画面に入ります。

士会用「取得単位確認」を押すと履修履歴と取得単位が確認できます。表示された履修履歴の印刷欄にチェックを付与し、「次へ(印刷)」を押すと、個人毎のポートフォリオを作成できます。ただし、証明書は士会事務局から交付を受けてください。

履修履歴一覧表(図4)

印刷する [開く]

個人履歴一覧

所属: 東京建築士会  
氏名: 建築 太郎

開催日時 (実施日)	プログラム名 (テーマ)	主催者 (自己研習名)	形態	分野	単位
2007年8月20日	最先端判例見学会	xxxxxxxx	Kypp	Bzzz	1
2007年8月20日	最先端判例見学会	xxxxxxxx	Kypp	Bzzz	3
2007年5月21日	eラーニング講習会「建築物の補助に関する居住性能評価指針」	xxxxxxxx	Kypp	Bzzz	3
2007年5月21日	eラーニング講習会「建築物の補助に関する居住性能評価指針」	xxxxxxxx	Kypp	Bzzz	2
2007年4月10日	新入社員受入研修(3)	xxxxxxxx	Kypp	Bzzz	2
2007年4月10日	新入社員受入研修(3)	xxxxxxxx	Kypp	Bzzz	8
2007年4月6日	新入社員受入研修(1)	xxxxxxxx	Kypp	Bzzz	1
2007年4月6日	新入社員受入研修(1)	xxxxxxxx	Kypp	Bzzz	6

問い合わせ先: 建築士会連合会 CPD事務局(担当: ---) TEL:03-xxxx-xxxx FAX:03-xxxx-xxxx  
〒xxxx-xxxx (住所) xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

Copyright (C) --- All rights reserved.

(社)山梨県建築士会 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-14-19 建設会館4階  
TEL:055-233-5414 FAX:055-233-5415  
URL <http://www.ykenchikushi.org/>

CPD・専攻建築士制度の制度についても確認・お問合せ (社)日本建築士会連合会  
東京都港区芝5-26-20 建築会館5階 TEL 03(3456)2061 URL <http://www.kenchikushikai.or.jp>